

2009-2010 年度 事業報告書

2009年10月1日から2010年9月30日まで

特定非営利活動法人 グリーンネックレス

1 事業の成果

NPO 法人グリーンネックレスは、JR 中央線沿線各市（武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市、立川市）の大学、NPO、行政等と連携し、中央線沿線の環境共生型まちづくりを推進してきた。昨年度に端緒を得た、低炭素ライフステーション（雨水活用を軸とした、省エネ建築）の実現化に向けて、東京都、小金井市、東京都市大学宿谷研究室、法政大学エコ地域デザイン研究所の協力の下、その企画・基本設計を担うこととなった。

これらの活動成果を踏まえ、1級建築士事務所として、当 NPO を登録することを理事会として検討し、コミュニティビジネスに一步踏み出す、新しいステップに入ることとなった。

本年度の成果は、以下の通りである。

①□低炭素ライフステーション事業

「東京都地球温暖化対策推進のための区市町村補助制度」を活用し、小金井市の支援の下で、雨水活用を軸とした、省エネモデル住宅の企画・建築・運営管理について検討を行った。

小金井市が競争入札を行い、落札した企業と協力し、実質的なプランニングを全て、当 NPO でを行い、結果として、行政と NPO、市民の新しい協働モデルとなる事業になりつつある。

②雨水発電実験

また、昨年度の引き続き、小金井工業高校に雨水発電実験装置を設置実験への取組みを進め、その成果等を踏まえ、小金井工業高校を改組して新設された、多摩科学技術高校の学習プログラムに、採り入れられることになった。これらの成果を踏まえ、2010年1月、社団法人 日本建築士会連合会より、まちづくり奨励賞を受賞した。

③地球を体感する生活術連続講座

八王子市の民家(マンション)に設置した雨水自動灌水プランターの住民と意見交換を行い今後の改善点とアフターケアについて検討した。新たに西武信用金庫「西武環境保全活動助成金事業」として低炭素社会に向けた市民の住まいと暮らし方を考えるオーガニックガーデン&エコハウスツアー「地球を体感する生活術連続講座」を開催した。

④こもなみプロジェクト

国土交通省の助成（「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業）を受けて、杉並区と小諸との連携プロジェクトを実施、その後も、都市農村交流事業を継続的に実施している。

⑤「青少年のための科学の祭典」への参加

昨年度に引き続き、「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井に参加し、低炭素ライフステーション事業の PR、啓発活動などを実施した。

⑥緑地の活用と保全活動「明日につなぐ風景」

小金井市内の屋敷林・生産緑地において、『こがねい子ども遊パーク』と協力し、ムラサキハナナを育てるなどの環境教育を通じて、農地・屋敷林の大切を知ってもらうイベントを実施、延べ200名を超える多数の参加者を得た活動を実施した。

⑦まちづくりネットワーク事業

小金井市環境市民会議、小金井市 NPO 連絡協議会、武蔵野法人会に参加し、様々なまちづくりの担い手とネットワークづくりを進めたい。

⑧他団体との連携事業

東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会に協力し、水の学校運営企画を支援、また、(NPO) 日本都市計画家協会主催『全国まちづくり会議 2010 in 熊本』へ出展参加、更に、小金井市環境

市民会議と協力し、『環境博覧会』への出展参加等、様々な団体と協力して、活動を実施した。

(1) 理事会活動

2、3カ月に1回、理事会を開催、事務局運営、事業活動の企画検討を行った。

今年度は、コミュニティビジネスを実施していたための基盤作りに向けて、一級建築士事務所登録の検討等、事業活動の基盤充実化につとめた。

(2) 主なプロジェクト事業活動

①低炭素ライフステーション事業

【活動趣旨】

多摩地域は、多摩川流域の集水域であり、平成13年の東京都環境確保条例に基づいて、雨水涵養を積極的に進めるべき地域として位置づけられている。また、ヒートアイランド化の進展は多摩地域でも顕著であり、湧水の枯渇傾向とあいまって、緑地や水辺空間による開水面の確保、蒸発散機能の維持・強化が急務となっている。

今年度は、こうした身近な資源を、建築の中で活かすプロジェクトとして、省エクスルギーの視点を取り入れたモデル住宅の具体化を図り、中央線沿線地域における水循環・雨水利活用を軸とした環境建築技術の確立と普及を目指すための取り組みを行った。

【活動内容・成果】

「東京都地球温暖化対策推進のための区市町村補助制度」の採択を受け、小金井市の実施する調査の、企画・内容検討を行うとともに、その成果を踏まえた基本設計を行った。

なお、本事業は、当NPOを中心に、市内外の様々な建築家が協働で実施する、事業として企画段階から、その技術の普及・啓発に向けた取り組みを進めている。

②「雨水発電の社会実験」

【活動趣旨】

内閣府の全国都市再生モデル調査「雨水の多面的活用による武蔵小金井駅南北一体的活性化モデル調査」の成果を踏まえ、社団法人 東京建築士会地域貢献活動センターの助成を昨年度より引き続き受け、多摩科学技術高校で雨水発電の社会実験を行った。（継続中）

【活動内容・成果】

- ・多摩科学技術高校において、学習プログラムとして、雨水発電装置の改良が採り入れられた
- ・日本建築士会連合会より、まちづくり奨励賞受賞
- ・東京建築士会見学会の実施

③水循環交流事業

オーガニック・ガーデン&エコハウスツアー「地球を体感する生活術連続講座」

【活動趣旨】

低炭素社会に向けた市民の住まいと暮らし方についてこれまでの電気や水道のライフラインを化石燃料に過度に依存した生活スタイルから身近な資源性に注目してできるだけ自然資源である雨水、太陽の光、風などを上手に取り入れた生活スタイルに変えて行くことが重要になって来た。このような生活スタイルについて考え、実践するきっかけとなるための学習講座を開催した。

【活動内容・成果】

- ・講座はオーガニック・ガーデン&エコハウスツアー「地球を体感する生活術連続講座（西武信用金庫の西武環境保全活動助成金事業）を3回開催した。1回目は雨水活用自動灌水プランターの説明を兼ねた「オーガニック・ガーデン」、2回目は環境と建築の観点から「環境と調和する住まいと暮らし」。特にエクセルギーハウスの考え方と事例について学習した。3回目は環境にやさしい「エクセルギーハウスの現地見学会」を開催。多摩市内のエクセルギーハウスの建築現場でエクセルギーの考え方、特徴、仕組み、工夫について学習した。
- ・講座の参加者は59名。成果は①オーガニック・ガーデンの基礎的な知識を学ぶとともに開発中の雨水を活用した自動灌水プランターの啓発②低炭素社会に向けた住まいと暮らしのキーワード「エクセルギー」について基礎的な知識の学習ができた③参加者である市民、市民団体、企業、行政と今後の活動における人的な協力関係ができた。

④こもなみプロジェクト

[活動趣旨]

小諸市と都市とを繋ぐ定期便を運行することにより、二地域でのコミュニティを創出する。定期便は、二地域の住民の出資による協働運行とし、運行時だけでなく普段から二地域を繋ぐ仕組みをつくる役割も果たす。新たな公の助成を受け、現状調査及び試験運用として耕作体験や小諸産野菜の直売などの行事等を行い、その運営の具体化に向けた取組みを進めている。

[活動内容・成果]

全国的に耕作放棄地が増大する中、小諸市内においても増加の傾向にある。また08年のリーマンショックの影響を受け、小諸でも自動車製造関連の企業による派遣社員解雇が行われたことから、派遣社員に住居を提供していたアパートに空き室が大量に発生することとなり、よってアパートのオーナーが収入を失うという連鎖につながった。

また、隣接する佐久市内の新幹線佐久平駅周辺の都市開発により、小諸市の西側に位置する民間アパートの空室が増加することと併せ、地域衰退が加速する傾向が一層高まった。

そこで、国土交通省の『「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業』に申請し、採用され、事業を実施、その後も毎週末、小諸との都市農村交流を進めている。

⑤「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井

[活動趣旨]

2010年9月12日に、東京学芸大学小金井キャンパスで開催された「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井に参加し、「身近な自然エネルギーの活用」と題して低炭素ライフステーションで実現を目指している、温熱環境体験プロセスを実際に小中学生に理解してもらう、環境教育への取り組みを行った。

[活動内容・成果]

・ボランティア中学生と協力して、低炭素排出の環境配慮型モデル住宅の展示紹介及び、色の異なる試験管に水を入れて、日光による水温上昇の計測実験を行い、来場者に身近な自然エネルギーの効果を知っていただいた。

・来場者数約150名、紹介資料配布数：110部

⑥まちかどプロジェクト「明日につなぐ風景」－民有緑地の活用保全

～中央線沿線地域における環境に配慮したまちの場づくり、まちの風景づくり～

[活動趣旨]

グリーンネックレスでは、中央線の高架化で南北につながる道やまちを華やかにすべく、「明日につなぐ風景」活動（「中央線『華』の風景づくり」を改称）に取り組んでいる。

武蔵野の面影を残す小金井周辺地域などでは、屋敷林などの緑地は年々少なくなりつつある。この貴重な緑地を少しでも多く残していくため、農家と市民と一緒に土との関わりをもちながら、武蔵野の風景を守り育てる活動を行った。

また、緑地保全を具体化させていくため、地主との緑地保全に関する勉強会、行政との緑地保全協議の場づくりに取り組んだ。

[活動内容・成果]

⑥-1：普及啓発活動

東小金井駅近くの「梶野つどいの杜」（梶野町4丁目）の緑地にて、年間を通じた活動を展開し、多くの参加を得た。年間を通じた活動を行うことで四季の変化を感じることができると同時に、市民が参加する機会を可能としている。

- ・ ボカシ（有機肥料）づくり開催（11月）・・・参加約10名
- ・ ボカシまき実施（2月）・・・参加約10名
- ・ 花見の会開催（4月）・・・参加約30名

昨年同様、春には待望の花が緑地一面に咲いたが、一部に多種の花が咲くなどの変化も現れた。

ムラサキハナナは花を見て楽しむだけでなく、ゆでたり、サラダにして味わうこともできる「作物」としての成果もあげた。今季は特に、レストラン経営者にも協力いただき、サラダをアレンジしていただいた。

- ・ タケノコ掘りの開催（4月下旬）・・・参加約50名
- ・ 種の摘み取り会（6月）・・・参加3名
- ・ これまでは、種ができる前に肥培管理のため、刈り取って収穫できなかったが、今季は約15万粒を現地で収穫することができた。
- ・ 種の採り出しの会（7月）・・・参加2名
- ・ ハナナの種まき・栗の収穫祭（9月下旬）・・・予約者約50名だったが強雨のため中止

但し、来場者4名には特別実施。

<参考>→10月2日（日）実施（約50名）

※今季は猛暑のため栗の実りが遅く、9月下旬時点では十分実らなかったが、延期して実施した10月には十分な収穫が適った。

さらに、次のシーズンの開花のため、紫花菜（ムサキハナ）の種まき会を行った隣接する保育園児を招いての種まき会を予定。

今期もNPO法人こがねい子ども遊パークのみなさんの協力を得て活動を行った。今後の課題として、昨年同様、こうした緑地保全につながることを意識した活動が周辺住民はじめ、より多くの方の理解と支持を得ていくことであり、竹の管理と利活用等、具体の対象を設定して取り組んでいくことが挙げられる。

⑥-2：緑地保全活動（その1：地主との連携）

- ・ 地主との勉強会の開催（1月、4月、9月）・・・各回2～4名

⑥-3：緑地保全活動（その2：行政との連携）

- ・ 小金井市環境市民会議等を通じて4年にわたって小金井市環境政策課に緑地保全にかかる検討のとりくみを要請してきたが、遂に実現するに至った。昨年度にひきつぎ当法人が中心となって実施し、10月に中間報告会を開催し、今後の方向性を提案した。（参加5名、行政2名）
- ・ 環境博覧会（11月、於：東京経済大学）にて、環境市民会議まちづくり部会の中でも、緑地保全に関する報告を行った。

⑦まちづくりネットワーク事業

中央線沿線地域の活動をつなぎ、広げていくため、各種団体活動等に参加した。

⑦-1「小金井市環境市民会議」への団体参加

- ・ 環境博覧会への出展
- ・ 緑地保全活動の提案、市との勉強会開催推進。

⑦-2「小金井市NPO法人連絡会」への団体参加

⑦-3「武蔵野法人会」への団体参加

⑧他団体との連携事業

⑧-1 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会との協力事業(水の学校)

おたカフェを活用した水の学校企画協力

- ・ 定期開催される『お鷹の道・水の学校』プログラムP Jに協力し、運営等をサポート(09年から10年9月・月1回有料開催)。

⑧-2 (NPO) 日本都市計画家協会との協力事業(全国まちづくり会議2010 in 熊本)

- ・ セッション「未来の都市研究会」への参加準備(2010,10/10実施)
- ・ 活動紹介パネル出展(環境配慮型住宅)の紹介の準備(2010,10/9-10実施)

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 ／分野	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	
情報 収集 ・ 提供	ホーム ページ	ホームページ管理・運営 専用ドメイン取得等インターネットの基盤環境整備	通 年	インターネットホームページ	1名	公開
	メー リング リスト	グリーンネックレスのメー リングリスト管理・運 営	通 年	インターネット	1名	グリーンネック レス会員等 メーリングリス ト登録者 約50名
		「高架化関連まちづくり 市民会議」のメーリング リスト管理・運営	通 年	インターネット	1名	小金井市民等会 議参加者等 メーリングリス ト登録者 約40名
調査 ・ 研究		緑地保全方策の検討(その 1) 地主等との検討	・2010/1 ・2010/4 ・2010/9	小金井市 梶野町地主宅付 近、小金井市婦人 会館 (東小金井)	3名	民有緑地の 保全関心者 参加数 各回約5名
	まち かど	緑地保全方策の検討(その 2) 行政・環境市民会議との検 討	中間報告会 2009/10/5	小金井市役所	1名	会員及び小金井市 民等 約11万人 参加者7名
			環境博覧会 2009/ 11/14-15	東京経済大	2名	会員及び小金井市 民等 約11万人 参加者20名
教育 ・ 普及	全般	「全国まちづくり会議 2010in 熊本」における展 示参加の準備	2010年9月 に準備、10/9・ 10実施	崇城大学市民ホ ール (熊本市)	2名	対象：全国のまち づくり関心者、熊 本市民等 全体：1000名展 示：40名
	地球 を体 感す る生 活術 連続 講座	いのちのめぐる庭づく り 「オーガニック・ガーデ ン」 化石燃料 持続可能なエコエナジ ー	2010/4/11	小金井市 萌え木 ホール	6名	対象：会員及び中 央線三鷹立川間沿 線市民等約80万人 参加17名
		自然のポテンシャルを活か す 身近な自然資源の循環「エク セル ギー」について	2010/4/24	小金井市 萌え木ホール	6名	対象：会員及び中 央線三鷹立川間沿 線市民等約80万人 参加20名
		エクセルギーハウス見学会	2010/5/16	多摩市関戸町	5名	対象：会員及び中 央線三鷹立川間沿 線市民等約80万人 参加22名

	環境配慮住宅	「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井への参加	2010年 9/12	小金井市 東京学芸大学キ ャンパス	4名 (ボランティア中 学生2名)	小金井市民他 全体参加者約 10,000人 約150名参加
	まちかど	緑地保全 明日につながる風景 ぼかしづくりの会	2009年 12/5	小金井市 梶野つどいの杜 (梶野町4丁目)	5名	中央線三鷹立川 間沿線市民等約 80万人 参加30名
		緑地保全 明日につながる風景 ぼかしまき	2010年 2/21	小金井市 梶野つどいの杜 (梶野町4丁目)	5名	中央線三鷹立川 間沿線市民等約 80万人 参加15名
		緑地保全 明日につながる風景 花見・ハナナ摘み	2010年 4/4	小金井市 梶野つどいの杜 (梶野町4丁目)	5名	中央線三鷹立川 間沿線市民等約 80万人 参加40名
		緑地保全 明日につながる風景 タケノコ掘り	2010年 4/25	小金井市 梶野つどいの杜 (梶野町4丁目)	3名	中央線三鷹立川 間沿線市民等約 80万人 参加約40名
		緑地保全 明日につながる風景 種取、もみがらから種の 採り出し	2010年 6/12, 7/19	小金井市 梶野つどいの杜 (梶野町4丁目)	2～3名	中央線三鷹立川 間沿線市民等約 80万人 参加2,3名
		緑地保全 明日につながる風景 播種、栗拾い	2010年 9/24 ※雨天のため、10/2に延期 開催	小金井市 梶野つどいの杜 (梶野町4丁目)	9/24: 2名 10/9: 5名	中央線三鷹立川 間沿線市民等約 80万人 9/24参加6名 10/2参加50名
企 画 提 案 及 び 実 践	環境配慮住宅	小金井市への「環境配慮型住宅」導入の提案、及び調査支援	2009年9月～ 2010年3月 行政会議適宜 市民ワークショップ3回	小金井市	6名	小金井市民など、 約11万人 各回参加者約15名
		「低炭素ライフステーション準備会」への運営協力	2010年 3月～9月 隔週 9/29 迄計 14回開催	小金井市	6名	小金井市民など、 約11万人 各回参加者約15名
	雨水活用	教育施設（多摩科学技術高校）における雨水発電装置の設置	通年	小金井市 小金井工業高校	5名	対象：中央線沿線 市民等 約80万人
	まちかど	民有屋敷林の保全活動 小金井市および小金井市環境市民会議に対する民有緑地の保全をテーマとしたとりくみの提案	通年 (隔月1回程度)	小金井市内	4人	小金井市民他約11万人
	こもなみ	都会と地方をつなぐコレクティブファームこもなみ倶楽部活動	2009年10月～ 2010年3月	長野県小諸 東京都杉並区	約10人	小諸市内 約4万人 杉並区内 約50万人

まちづくり活動ネットワーク	「小金井市環境市民会議」への参加	通年 (隔月1回程度)	小金井市内	4人	小金井市民他約11万人
	「くにたちNPO市民活動支援室」への参加	通年	国立市内	1人	国立市民他約7万人
	「小金井市NPO法人連絡会」への参加	通年 (隔月1回程度)	小金井市内	1人	小金井市民他約11万人
	「武蔵野法人会」への参加	通年	小金井市他	4人	武蔵野・三鷹・小金井市民他約40万人

2010年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2010年9月30日

特定非営利活動法人
グリーンネックレス

単位;円

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金・預金	1,012,547	
未収入金	85,000	
流動資産合計		1,097,547
2. 固定資産		
器具備品	0	
出資金	0	
固定資産合計		0
資産合計		1,097,547
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	464,692	
預り金	0	
流動負債合計		464,692
負債合計		464,692
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		356,413
当期正味財産増加額		276,442
正味財産合計		632,855
負債及び正味財産合計		1,097,547

2010年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

2009年10月1日～2010年9月30日

特定非営利活動法人

グリーンネックレス

単位;円

科目	金額		
(経常収支の部)			
I 経常収入の部			
1. 会費収入			
会費収入	60,000	60,000	
2. 事業収入			
① 低炭素ライフステーション事業	1,575,000		
② こもなみ事業	2,481,150		
③ 水循環交流事業	245,000		
④ 青少年のための科学の祭典事業	19,500		
⑤ まちかどー緑地活用保全事業	20,000		
⑥ 雨水発電事業	200,000	4,540,650	
3. 補助金等収入			
4. 寄付金収入			
5. その他収入			
利息収入	164		
雑収入	3,000	3,164	
経常収入合計 (A)			4,603,814
II 経常支出の部			
1. 事業費			
① 低炭素ライフステーション事業	1,067,677		
② こもなみ事業	2,356,150		
③ 水循環交流事業	235,000		
④ 青少年のための科学の祭典事業	12,000		
⑤ まちかどー緑地活用保全事業	20,000		
⑥ 雨水発電事業	156,900	3,847,727	
2. 管理費			
事務所家賃等経費	440,000		
通信運搬費	1,665		
印刷製本費(コピー)	7,000		
旅費交通費	5,000		
諸会費	22,000		
雑費	3,980	479,645	
経常支出合計(B)			4,327,372
経常収支差額 (A) - (B) = (C)			276,442
前期繰越収支差額 (D)			356,413
次期繰越収支差額 (C) + (D)			632,855

2010年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2010年9月30日

特定非営利活動法人
グリーンネックレス

単位;円

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	83,905	
普通預金		
多摩信用金庫	913,900	
三菱東京UFJ	14,742	
未収入金	85,000	
会費 5名 30,000円		
参加費収入 55,000円		
流動資産合計		1,097,547
1. 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		1,097,547
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
事業経費		
低炭素ライフステーション	106,692	
水循環	235,000	
まちかど交流	12,000	
緑地活用保全	20,000	
広報印刷	7,000	
諸会費	9,000	
事務局経費	70,000	
交通費	5,000	
流動負債合計		464,692
負債合計		464,692
正味財産		632,855